信大病院21C ハミング

No.69
2014.10.30

基本理念　本院は診療・教育・研究を遂行する大学病院としての使命を有し、また患者さんの人権を尊重した先進的医療を行うとともに、次代を担う国際的な医療人を育成する。

主な記事

- PETを開始しました …… 2
- ウッドデッキの贈呈式が行われました …… 3
- 花火大会を開催しました …… 4
- 絵本カーニバル …… 4
- 泌尿器科学教室教授の挨拶 …… 5
- 信州がんセンター公開講座（2回目）を開催しました … 6
- 路線バスが信大病院「玄関前」に乗り入れ来院がますます便利に！ …… 6
- 西3階 病棟の紹介 …… 7
- ご意見函からの声 …… 7
- 電話番号表・編集後記 …… 8

PETを開始しました

1. PETとは？

PETとは、positron emission tomography（陽電子放出断層撮影）の略で、放射能を含む薬剤を用いて行う核医学検査です。放射性医薬品を体内に取り込ませ、放出される放射線を特殊なカメラを用いて画像化します。

当院では、ブドウ糖代謝の指標となる^{18}F-FDGという放射性医薬品を用いたPET検査を行うことができます。この検査は、がんの大きさや場所の特定、良性・悪性の区別、転移の状況や治療の効果判定、再発診断などに利用されています。

2. 検査の流れ

放射性医薬品を体内に投与してから、約1時間後に撮像します。この薬剤は、動かした筋肉に集まる特性があるため、薬剤を投与した後は核医学検査室内の待機室で安静にして頂きます。検査前日の激しい運動も避けて頂きます。撮像が終わったら、再び待機室へ戻り、体内から放出される放射線が安全な量に減少する数十分後に退室となります。また、血糖値が高いと、がんに薬剤が集まりにくくなるため、検査の5時間前から絶食します。

3. 被ばくについて

周囲の人の被ばく（公衆被ばく）の心配はありません。但し、投与後12~24時間は妊婦や小児との長時間の密接な接触（抱っこなど）を避けた方が良いという意見もあるので、生活に支障を来さない程度で考慮していただければよいと考えています。

4. がん診療におけるPET検査の保険適応について

2012年から、早期胃癌を除く全ての悪性腫瘍が保険適応となりました。がんと診断された場合、FDG-PET検査は保険診療で行うことが可能なため、患者さんの負担が軽減します。

PET検査は、がん診療において、今や欠かせない検査となっています。長野県で唯一の「都道府県がん診療連携拠点病院」として、その役割の一端を担うPET検査を通じて、地域の皆様により良い診療を提供できるよう、スタッフ一同、努力してまいりたいと思います。

ウッドデッキの贈呈式が行われました

この度、一般財団法人 信和会のご厚意により、ウッドデッキ「きらめきの空間」及び建物の寄贈を受けました。信和会による院内環境整備は、昨年５月の「やすらぎの空間」に続く贈呈であり、患者さん及び来院者のための憩いの場として活用が期待されています。

７月14日に行われた贈呈式は、左から邊見副病院長（事務担当）・本郷病院長・金井信和会理事長・伊藤副病院長（看護部長）の出席により行われました。

あいにくの空模様のため、「きらめきの空間」では無く廊下に場所を移しての贈呈式となりましたが、贈呈式終了後には、病棟玄関から移転してきた「フラワーランド恵里花」による、患者さんたちに季節の花小鉢が振る舞われ、和やかな雰囲気に包まれました。

信州大学医学部附属病院にご来院の際は、是非ご利用ください。

花火大会を開催しました

８月27日（水）、午後６時30分から病棟玄関前にて東4階の小児科主催による、夏祭りと花火大会が開催されました。朝から生憎の空模様でしたが、とても楽しみにしている子供たちのために、屋根のある場所での開催に踏み切りました。

法被姿の小児科小池教授の挨拶を合図に、子供たちは病棟玄関内に用意されたヨーヨー釣りや輪投げ、くじ引きのコーナーへ駆け寄り親子で夏祭りを楽しみました。マンガやアニメのキャラクターの絵を吊り上げるゲームでは真剣な眼差しで挑戦し、見事吊り上げた際には笑顔で喜んでいました。外では、子供たちや看護師が自慢の浴衣姿で、記念撮影をしていました。

心配された空模様は、開催前から小降りとなり外に出る頃にはすっかり止んでいました。 子供たちは手持ち花火を両手に持ち、親子で夏の終わりを楽しんでいるようでした。離れたところでは、医師や看護師が打ち上げ花火に点火し、夜空に舞う花火に見入っていました。

最後に恒例のナイアガラ花火と集合写真を撮影して花火大会は幕を閉じました。

絵本カーニバル

東４階病棟　所　真由美

2014年８月１日～８日までの８日間、東４階病棟の小児科プレイルームにて、NPO法人、絵本カーニバルによる「絵本カーニバル」が開催されました。絵本カーニバルは全国各地の小児病棟や緩和ケア病棟などで開催されていますが、今回信州大学病院では初めての開催となりました。「絵本カーニバル」って何をしたの？と思われる方がほとんどではないかと思いますので、ご紹介したいと思います。

絵本の世界の中には、生きていく上で大切なものが沢山描かれています。絵本カーニバルのスタッフにより「成長の１ページ」「一緒に笑おう」のテーマで選書した絵本が、小児科プレイルームに設置された、家型の木製棚などに、絵本の顔である、表紙を正面として並べられました。うさぎの耳をかたどった木製の子どもイスも設置され、とても会場が明るく可愛く演出されました。開催中、小児科病棟に入院中の子どもたちやご家族の方が、好きな絵本を手にとり、読んでいる姿が多く見られました。

物作りワークショップもプレイルームの中で同時に企画されており、「折り紙でお弁当を作ろう」をテーマに、子どもたちや親子が笑顔で、ちぎったり、丸めたり、色とりどりの折り紙でお弁当作りを楽しんでいました。「いろんな絵本が並べて置いてあってどの絵本も面白かった」「みんなと楽しくお弁当が作れたし、お母さんとも楽しく作れてよかった」など、子どもたちは十分に楽しめた様子でした。

泌尿器科学教室教授の挨拶

泌尿器科学教室教授　石塚　修

平成26年９月１日付けで、泌尿器科学教室教授に就任いたしました石塚でございます。昭和36年の信州大学泌尿器科学教室の開設以来、４代目の教授となります。

泌尿器科領域においては、急激な勢いで、手術の低侵襲化がすすんでおります。その代表格でもある腹腔鏡下手術は、腹部に数カ所の穴をあけ、二酸化炭素を入れて腹腔を膨らませて、操作空間を作り、穴から入れた内視鏡カメラ、手術器具を利用して行う手術です。皮膚や筋肉を切る範囲が少なく、出血も少ないため、手術からの回復も早く、痛みも少ないため、昨年には本院での腎・副腎の手術の約75%が、腹腔鏡下で行われるようになりました。

前立腺肥大症の手術は、中等度以下の大きさの肥大の場合には、従来、尿道から内視鏡をいれて、内側から電気メスを利用して肥大の部分を削ってくる手術を行い、大きな肥大の場合には下腹部を切って、摘出する手術を行っておりました。本院では、数年前よりレーザーを導入し、大きな肥大でも、尿道から内視鏡を利用してより安全に手術を行うことができるようになりました。既に50名以上の方々がこの手術を受けられておられます。

腹腔鏡下手術をロボット支援下に行うダビンチ・システムも、前立腺がんの方に対して、本院では2012年12月より開始しております（長野県の第１例目）。このシステムの大きな特徴は、通常の手術では術者が見えにくい部分、手が届きにくい部分、また、非常に細かい操作を要する部分が、ロボットの支援を受けて、より緻密に行えることです。現在、本院では前立腺がんや、胸腺、肺がんの手術で行われています。また、2014年１月より、新型に更新となりました。そのため、内視鏡画像も向上し、機械操作を行う部分（コンソール）が２台となり（写真）、より安全で緻密な手術を行うことが可能となっております。このロボット支援手術は、前立腺がんに対しては、本年の９月５日の時点で86名の患者様が手術を受けられておられます。

腎移植手術もこれまでに約60名の方々が本院で手術を受けられておられ、腎臓内科の先生のご協力もあり、順調な経過をたどられておられます。

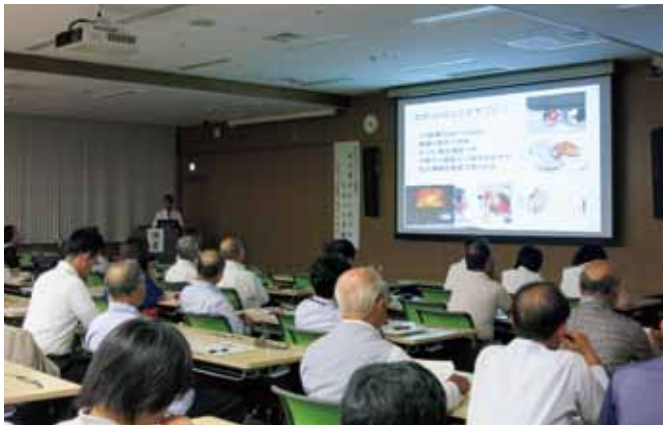
今後も、ご紹介いたしました腹腔鏡手術、レーザー手術、ロボット支援手術、腎移植手術を推進してまいります。

なお、これらの手術の施行にあたりましては、手術適応の判断が必要ですので、担当医とよくご相談いただければ幸いです。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

写真
新型ダビンチ・システム：
ロボット操作部分が２つあります。

信州がんセンター公開講座（2回目）を開催しました



本院は長野県で唯一「都道府県がん診療連携拠点病院」の指定を受け、がん診療に関する様々な活動を行っています。その一環として、信州がんセンターは８月28日に２回目の公開講座を開催しました。当日は約150名の参加がありました。

今回は、本院の横山　仁先生（泌尿器科）が「前立腺がんに対するロボット手術」をテーマに従来の開放手術（体にメスを入れる手術）との違い、前立腺がんの特徴などを講演しました。

ロボット手術の正式名称は「ロボット支援下　腹腔鏡下　前立腺全摘除術」です。体に小さな穴を開け、そこからカメラや手術器具を挿入して手術を行いますが、ロボットならではの精密な動きで、出血量や入院日数、術後の痛みなどが軽減されます。手術の間は３Ｄ画像（High Vision）も提供され、より安全性の高い手術が可能となります。

参加者の皆様に体験していただくため、講演の途中で、実際の３Ｄ画像を15分ほど上映しました。専用のサングラスをかけてご覧いただきましたが、口々に感嘆の声が上がり、大変好評でした。

ロボット手術を受けられない場合や合併症のリスクなども説明いただいた上で、今後も様々な手術に取り組んでいくことを表明し、公開講座は盛況のうちに幕を閉じました。

路線バスが信大病院「玄関前」に乗り入れ来院がますます便利に！

平成26年10月１日より、アルピコ交通の路線バスが信大病院内への乗り入れを開始しました。患者さんやご家族の利便性向上のため、かねてから信大病院がアルピコ交通に要望をしていたものです。新しく設置されたバス停の名前は「信大病院玄関前」です。

以前のバス停「信大病院南口」は正面玄関から150メートルほど離れており、病院敷地外で待合用の屋根もないため、病院利用者に負担をかけていました。新しいバス停は病院外来棟「玄関前」に横づけされるため、雨の日やバスが遅れた時でも安心して乗降できます。

現在、信大病院では平日の午前中は駐車場に入ろうとする車が国道にあふれ、渋滞を引き起こす原因にもなっています。バスの利便性向上により、マイカー利用を減らして渋滞の緩和につながることも期待できます。

バス発車時刻（北市内線西まわり）

（平成 26 年 10 月 1 日現在）※時刻表改正の可能性があります。バス乗車時間は目安です。

●松本駅お城口→信大病院玄関前（約 20 分）

松本駅お城口 発車時刻	平日		
7	00	20	40
8	00	20	45
9	00	40	
10	20		
11	00	40	
12	20		
13	00	40	
14	20		
15	00	40	

●信大病院玄関前→松本駅お城口（約 20 分）

信大病院玄関前 発車時刻	平日		
7	19	39	59
8	19	39	
9	02	17	57
10	37		
11	17	57	
12	37		
13	17	57	
14	37		
15	17	57	

路線バスは「北市内線西まわり」で松本駅のお城口を出発し、松本深志高校、信大病院玄関前、松本秀峰中等教育学校などを経由し、約30分で松本駅に戻ります。料金は均一で200円です。

患者さん、及びそのご家族、並びに職員の皆さん、便利になった路線バスをぜひご利用ください。

西3階 病棟の紹介

西３階精神科病棟の一日は医師と看護師が共に夜勤からの申し送りを聞くことから始まります。昨日から今朝に至るまでの患者さんの精神症状にまつわる言動や食欲、睡眠、頓服薬の服用状況等が主ですが、治療予定、検査結果、家族の心情も大切な情報です。

精神科の患者さんの経過は外科の経過に比べると時間を要するのが常ですが、時に病状が急速に変化し、最悪の場合、自傷行為に至ることもあります。また、医師にして見せる言動と看護師に見せる言動が違うこともあります。医師と看護師が患者さんを多角的かつ継続的にみること、そしてそれを共有することを大切にしています。

加えて、精神科医療に携わる作業療法士、薬剤師、臨床心理士、精神科ソーシャルワーカーとの情報共有も週に一度開催されるカンファレンスを通じて行っています。精神科医療の携わる全職種が会して患者さんの病状、治療方針をディスカッションします。

世の中のどのような仕事でも同じですが、医療においてもチームワークは重要です。しかし、言葉で言う程、良いチームワークを発揮することは容易くありません。我々、信州大学医学部附属病院精神科病棟のスタッフは、その良いチームワークを発揮して患者さんのケアに携わるよう日々努力しています。

ご意見函からの声

Q 診療科受付での待ち時間をもっと分かりやすくしてほしいです。受付案内の画面を長い時間見て自分の番を常にチェックしなければならないのは疲れます。

A ご意見をいただきありがとうございます。外来患者さんより診療科受付前の受付案内の画面を長い時間見ていなければならないご負担の声は以前から頂いており、病院として対応策を検討してきました。このたび、外来患者案内表示システムに携帯ＷＥＢ版を導入し、10月1日より運用を開始することといたしました。このシステムは、お持ちの携帯電話やスマートフォンで本院の携帯版ＷＥＢサイトにて、受付番号を入力すると現在の呼出状況が確認できるシステムです。
詳しくは、各受付にてパンフレットを配布しておりますのでご確認ください。

操作方法

1. 携帯電話・スマートフォンで受付票の右下にあるＱＲコードを読み取り、携帯ＷＥＢ画面を呼び出す。（お気に入りに保存すれば次回からは必要ありません）
2. 携帯ＷＥＢトップページの受付番号入力枠に当日の受付番号を入れ、画面の入力ボタンを押す。
3. 画面に現在のお呼び出し状況が表示されます。

※携帯電話・スマートフォンの読み取り方法等は、お手持ちの説明書をご確認ください。
※携帯ＷＥＢへの通信料は、患者さんのご負担になりますので、ご了承願います。

電話番号表（市外局番　0263）　代表番号：35-4600

【診療科外来】

南1階	小児科	37-2776
	遺伝子診療部	
	先端心臓血管病センター	
	循環器内科	37-2551
	整形外科	37-2785
	脳神経外科	
	総合診療科	
南2階	呼吸器・感染症内科	37-2768
	消化器内科	
	血液内科	
	腎臓内科	
	脳神経内科	37-2770
	リウマチ・膠原病内科	37-2773
	糖尿病・内分泌代謝内科	
	内科総合外来	
	放射線科	

南3階	眼科	37-2789
	耳鼻いんこう科	37-2791
	産科婦人科	37-2793
北2階	皮膚科	
	消化器外科	
	移植外科	37-2778
	小児外科	
	呼吸器外科	37-2781
	乳腺・内分泌外科	37-2783
	麻酔科蘇生科	
	形成外科	37-2831
北3階	精神科	37-2846
	子どものこころ診療部	37-2787
	泌尿器科	37-3381
	特殊歯科・口腔外科	37-2796

リハビリテーション部（理学療法）	37-2836
リハビリテーション部（作業療法）	37-3399
通院治療室	37-2552
医療福祉支援センター	37-3370
高度救命救急センター	37-2222
胸痛センター	
内視鏡センター	37-2803
臨床試験センター	37-3389
移植医療センター	37-2930

【医事課】

収入係	37-2763
入院係	37-2759
外来係	37-2757

【医療支援課】

患者サービス係（診断書・労災）	37-2762

☆相談窓口☆
受付時間：月～金（祝除く）
9時～16時

【病棟スタッフステーション】

西病棟		階	東病棟	
【先端心臓血管病センター】 循環器内科 心臓血管外科	37-2777	8階	糖尿病・内分泌代謝内科 乳腺・内分泌外科	37-2769
脳神経内科、脳神経外科 リウマチ・膠原病内科	37-2774	7階	消化器内科、血液内科 腎臓内科	37-2771
皮膚科 泌尿器科	37-2788	6階	【呼吸器センター】 呼吸器・感染症内科 呼吸器外科	37-2784
消化器外科、消化器内科 移植外科、小児外科	37-2782	5階	眼科、脳神経外科 麻酔科蘇生科	37-2790
産科婦人科 新生児科（NICU・GCU）	37-2772	4階	小児科 婦人科	37-2794
精神科 子どものこころ診療部	37-2775	3階	整形外科	37-2786
放射線科、消化器外科、移植外科 小児外科、特殊歯科・口腔外科、RI 信州がんセンター、救急科	37-2780	2階	耳鼻いんこう科 形成外科	37-2792

くすりの相談室	37-3013	地域医療連携支援室	37-3370
総合医療相談室	37-3370	難病相談支援センター	34-6587
がん相談	37-3045	難聴児支援センター	34-6588
セカンドオピニオン外来	37-3111	肝疾患診療相談センター	37-2922
先端細胞治療センター（分子細胞診療室）	37-3220		

編集後記

9月27日の御嶽山の噴火で、被災された皆さま、およびご関係の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。今年のノーベル物理学賞に中村修二先生、天野浩先生、赤崎勇先生が選ばれた朗報がありました。中村先生は、信州大学の元客員教授であり、ノーベル物理学賞受賞を身近に感じます。市内循環の路線バスが病院の正面玄関前に乗り入れを開始しました。これでバス停から長い距離を歩かなくても良くなりますし、雨の日もバスの乗り降りで濡れることがなくなりました。皆様方に大いに利用していただければ、外来の駐車場の混雑緩和になるのではないかと期待しています。（放射線部　平野　浩志）

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？ 写真を募集しております！

お名前・写真のタイトルをご記入の上、
ctc@shinshu-u.ac.jp へお送りください。
写真は 2MB 以上 5MB 未満の jpg データ

【お問合せ・応募宛先】
信州大学医学部附属病院　総務課　卒後臨床研修係
TEL：0263-37-3050
※応募はメールのみ受付

発　行　信州大学医学部附属病院　広報室　松本市旭 3-1-1　電話 37-3050